

漢字の間違いで新幹線乗務員剥奪か？ 落とすための試験＝「日勤再教育」反対！！

東京第二運輸所分会組合員は、乗務した際の事象を理由に「日勤再教育」が指定されました。

しかし、この「再教育」とは名ばかりであり、自主学習を強要するだけで教育を一切行わずペーパー試験だけが繰返されました。「再教育」は、10月4日、10日、15日に実施されましたが3回とも不合格と判断され、新幹線乗務員を剥奪されようとしています。

しかし試験の採点は、「漢字の間違い」や「言葉の抜け」などをあげつらわれ、極めて恣意的な判断によって不合格とされたのです。これでは再発防止としての「再教育」とはならず、漢字の試験と言っても過言ではありません。

JR東海は、JR西日本福知山線事故を教訓化するのではなく、社員への責任転嫁と労組対策の手段として「再教育」を利用しているのです。これでは真の安全確立は望めません。

私たちは、恣意的な採点による新幹線乗務員の剥奪は絶対認めることはできません。また教育とは名ばかりの「日勤再教育」は直ちに廃止すべきです。

**再教育試験不合格を理由とした
「乗務員失格」は直ちに撤回しろ！**